

第79回みんなで平和を考えてみる集い

戦争体験を次世代へ語り継ぐ

平和のために決して黙らず、決して忘れず

さおとめ かつもと

お話し 早乙女 勝元さん (作家、東京大空襲・戦災資料センター前館長)

■いま平和のために過去から学ぶことが大事

早乙女勝元さんは12歳で東京大空襲を経験しました。早乙女さんは、毎年3月10日の東京大空襲が近づいてくると、決まって朝日新聞投書欄に投稿を30年間続けてきました。あの夜のことを決して忘れず、何事があるうとも黙らずに生きたいと思う、平和は歩いてきてはくれない、と戦争体験を次世代へ語り継いでいるのです。

戦争の記憶が風化して、憲法を変えて再び戦争ができる国にしようとしているいまは、過去から学ぶことがとても大事なときになっています。

戦争体験者として平和のために決して黙らず、決して忘れず歩いて行きたい。誰でもできることから一歩を踏み出すことが大事、と語る早乙女さんにお話しいたできます。



■早乙女勝元さんプロフィール

1932年東京生まれ。12歳で東京大空襲を体験。働きながら文学を志し、18歳で書いた「下町の故郷」が直木賞候補に推される。1970年、「東京空襲を記録する会」を結成し、東京都民の空襲体験記を収集・編纂した『東京大空襲・戦災誌』(全5巻)で菊池寛賞を受賞。2002年、東京都江東区北砂に東京大空襲・戦災資料センターを開設、2019年まで同館長。

主な著作は100冊を超える。『早乙女勝元自選集』(全12巻/日本図書センター)、『生きることと学ぶこと』(岩波ジュニア新書)、『東京空襲下の生活日録』(東京新聞)、『蛍の唄』(新潮文庫)、『その声を力に』(新日本出版社)など。

憲法9条を守り活用しよう。みなさまの参加をお待ちしています。

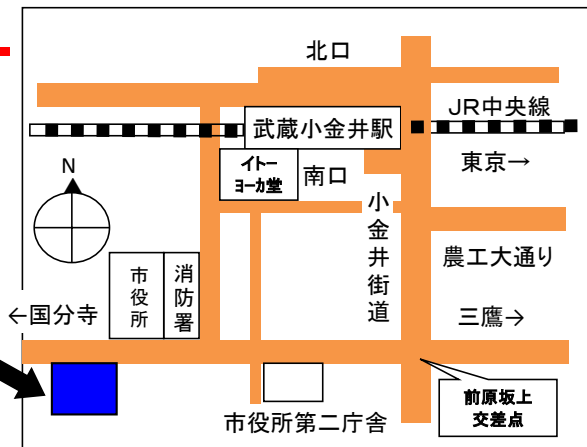
日時 ~~2020年5月24日(日)~~

午前10時～12時15分

会場 市民会館萌え木ホール
(小金井市商工会館3階)

☆事前申し込み不要、直接会場にお越しください

資料代 500円(学生無料)



主催 小金井を住みよくなる会(顧問:針生誠吉・都立大名譽教授・憲法学)

連絡先 小金井を住みよくなる会事務局・内田 電話 090-3813-7739

小金井を住みよくなる会ホームページ <http://koganei-sumiyokujimdo.com/>